

小人閑居して作文を書く!

永見 哲

〔しよのいち〕

まず大上段に、自転車とは、女性である。

何故なら、男が乗るからである。さらには、私は男であるからして女の乗る自転車の事は知ったことではない。(木暮の事も知らん)

ところで、私は横浜に住んでいて東工大は鶴見川の向うの多摩川の向うにあつてしかもウイークデイはまじめにガッコに通つて居るからして我が愛車に乗れるのは休日のみである。

というわけで愛車は五リデー一回間は、それが出来るので、肉体的疲労もえせかり、身もたえして居る。あたかもパリに單身赴任し、週末にコンコルドで帰つて来る若き敏腕外交官の令夫人のごとくである。(もちろん自転車であるからピンクのネグリジエで向かうより巾着袋でもよいから)

さて、日曜日は昼下りの倍車にと相成る。(一般的なものはポタリングと呼ばれる。)

日曜からのしこみが良いので感度は抜群である。サロベツ原野の泥と砂がたまにこぼりつりまわるときはだかかの愛車もあるからだが……。女も自転車も乗れば思いしきるもんではない。なりとまわつてももちはたが一番。しまり具全も問題ない。紙がな

〔しゃのに〕 語句説明

〔力〕 [rikki] 名. ㊦ それがなくあつた人が主に使う単語。

用例 「あいつはリキがある。」 「ばれはリキ切れだ。」

〔しゃのさん〕

〔ポチ〕 [pochi] 名. ㊦ 当クラブのポリタンの名前。

用例 「ポチに氷やつてこい。」 「ポーチポチポチポチ。」 = 氷持
て来い。類語 ミケ、マグマ大使。

〔しゃのふん〕

〔幸福〕 [koufuk] 名. ㊦ 人の不幸な状態を見ている内に感じ
る快なり感覚。A. ビアスにふる

〔しゃのこ〕

〔カンパ〕 (company) 名. 当クラブでは、元副部長の小島氏が
ダレーキをスポーツクラブに付けている以外なかも持たず、ありイタ
リヤ船の手伝いし、の自転車部員、その外には小島氏は盗難を恐れ、
学校へは一度も来ななせりである。

ところでカントの落品が一番重りのは、せ、と貝古しにるハブ
完キヤッブで二個マのり内である。

〔しゃのく〕

〔バースト〕 (burst) 名. ㊦ 洋物のタイヤ(ムッ4ンソン、ウ
ルバー等)が主に引き起さくともおもしろい見世物。今年目
外には、タイヤカロー自体が引かれる事か多し、小島氏は、650B
のリムに4.5-プラーをつけて走った。

〔シメのしち〕

〔パン〕〔pan〕 n ㊦ 当クログにはおいて合宿中の朝食。
五枚目を大家が食べる夕を決^る仁善無き戦いが毎朝行われる。

〔シメのはす〕

〔ジギスガン〕〔Jigibkan〕 n ㊦ 合宿中の夕飯の一つ。

またの名を「仁善好カト」。一応コトンの布を突^りと^ます理由で使う
がその実体は焼肉。食べる時のコナーはその名の通り仁善無き戦
いをモブドローとする。争いを少なくするため肉の量とネギや玉子を
減^らされたが、結局、服従者はあつてももの最後までコナーは守
られたようである。

〔シメのく〕

〔カレーライス〕〔kareirais〕 n ㊦ 合宿中の夕飯の一つ。と^ま
つてもカレー粉を入れるまではシチューとブタ汁と全く製法は同じ
で、最後にカレー粉を入れるか、ネギの葉を入れるか、ミソを入^れ
るかのみでありである。と^まつて当クログにはおいて矢に上げ焼肉
系統とこのカレー系統の二つしか夕飯は存在しないのは有^りな^らず
事である。

〔シメのしまり〕

〔文書〕〔bunseki〕 n ㊦ この本の作者に全く欠けていた感
したせいで発音記号その他は適当に書いたので文句を言われても
知^らな^らずしてはな^らない。